

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス クラージュ			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日		～	2025年 10月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2025年 10月 9日		～	2025年 10月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日のプログラムに集団活動（日替わり講座）を取り入れ、子どもたちの達成感や自己肯定感につなげていること。	子ども達の発達段階に応じた内容を提供し、集団活動の中でも個々に応じた活動を取り入れ個別の対応ができるようにしています。	外部からの専門講師やボランティアを招き、子ども達が興味関心をもって幅広い経験を積めるようにしていきます。
2	今年度開設の新事業所のため、広い活動スペースと新しく清潔な環境が提供できていること。	子ども達が安心して安全に活動できるように、整理整頓、危険物の排除、清掃、消毒など、活動スペースの環境整備を徹底しています。	広い活動スペースを活用したプログラムを積極的に取り入れていきます。また、学習と遊びなど活動ごとのスペース分けにも取り組んでいきます。
3	その日の活動の様子を、連絡帳、写真、送迎時の対応などで、保護者様に連絡し、家庭と情報交換できていること。	保護者様と情報交換をし支援に生かしたり、保護者様からの相談などにも対応し、安心して利用していただけるように取り組んでいます。	気軽に参加できる保護者相談の日を設けるなど、家庭との連携を深めていけるように取り組んでいきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動の予定表や、お便りやお知らせなど、事業所全体としての情報発信が不十分であること。	個々の家庭とは情報交換ができていると思われるますが、事業所からの情報発信の具体的方法が乏しいことです。	日々のプログラムのお知らせや、通信の作成、SNSの利用など、個人情報の取り扱いに注意しながら取り組んでいきます。
2	外部の子どもたちや地域との交流の機会が少ないこと。	平日の放課後は、室内でのプログラムに沿った活動のため、外部との交流の時間が無いことです。	長期の学校休業日（夏休みなど）に、児童館や公園など公共施設を利用したり、ボランティアとの交流の機会を持つことなどに取り組んでいきます。
3	非常災害の発生に備え、必要な訓練を行い、その結果を保護者様に周知できていないこと。	開所してから数か月のため、まだ避難訓練等を実施できていないことです。	早急に避難訓練を計画実施し、保護者様に周知してまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス クラージュ

公表日 2025年12月25日

利用児童数 12

回収数 9

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	0	0	0		感覚統合などの運動やグループ活動ができる広いスペースを確保しています。学習と遊びの場所分けもできるようにしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	2	0	1		保育士などの有資格者を適切に配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	1	0	0		事業所の室内はバリアフリー化されており、危険と思われるものは排除し、安全に過ごせるようにしています。またプログラムを見る化し視覚支援をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	0	0	0		整理整頓がしやすい構造を心がけています。こどもたちが、のびのびと過ごせるように広い空間を確保しています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	0	0	0		こどもたちの特性や発達段階に応じた支援を行っています。今後も専門性のある支援をしていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	0		支援プログラムと支援内容は合致しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	0	0	0		これからも、子どもと保護者のニーズや課題を分析し、計画作成をしていきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	0	0		「本人支援」「家族支援」については必要な項目、具体的な支援内容が設定されていると思います。「移行支援」についても、個々人に合った支援内容を設定し、支援していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	1	0	0		個別支援計画に沿った支援を行っています。定期的に、また必要に応じて計画の変更をしています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	0	0	0	・プログラム内容がわかるカレンダーのようなものが欲しいです。	日替わりの講座を提供し、5領域すべてに関連づける活動ができるようにしています。幅広く経験を積めるようにプログラムを設定していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	0	3	3		児童館を利用しています。今後も、地域の活動の場に参加し、他のこどもと共に活動する機会を作ります。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	1	0	0		契約時に説明しています。また質問がある時には、適宜交付、お答えしています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	1	0	0		保護者面談の場を設け、個別支援計画を示しながら説明しています。書き替える度に面談による説明をしていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0	5	2	2	・子どもの特性について職員の方々と一緒に考えながら支援していきたいです。 ・利用後まだ間がないのでわかりません。	開所後、間がなく、まだ行えていません。個別にご相談をうけつけていますが、研修会や家族会なども計画していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	8	1	0	0		日々の連絡帳や、活動の様子がわかる写真の送信、面談などで、情報提供や共通理解を図っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	2	1	1	・利用後まだ間がないのでわかりません。	個別に適宜行っています。面談などで定期的に行っていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	1	0	0		それぞれのこどもや家族に対して、共感しともに子育てをしていく姿勢を続けて行きます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	3	3	3		以後、家族会などを設け、家族や兄弟の交流ができるようにしていきます。

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	1	0	3	・職員の方々は、コミュニケーションが取れていると思うので、相談や申し入れについては適切に対応していただけると思います。	その都度、個別に対応しています。家族から相談や申し入れがあった場合は、迅速、適切に対応しています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	1	0	0		日々の連絡帳や、送迎時の対面での連絡、メールなどの連絡ツールをつかい、意思疎通、情報伝達をしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	0	2	1		自己評価結果を開示しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	0		十分に留意しています。今後も継続していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	1	1	1		年に数回の避難訓練、マニュアルの策定、保護者への周知・説明をしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	0	1	4		年に数回の避難訓練を行う予定です。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	0	1	4		安産な環境づくり、安全の確保を十分に行っています。計画の周知についても行っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	0	1	4		緊急を要する事故やケガの発生は無いが、起こった場合は速やかな連絡や状況説明をしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	0		放課後などを安心して楽しく過ごせる居場所になるようにしていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	1	0	0	・子どもは泣くこともなく、楽しみにしています。	放課後などを安心して楽しく過ごせる居場所になるようにしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	0	0	0	・職員の方々と情報共有できているので、満足しています。	これからも、子どもと家族に満足していただける支援を続けていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年12月25日				
放課後等デイサービス クラージュ						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		支援室の広さは十分に確保できています。また、広く使えるように、収納棚などの配置も工夫しています。	学習スペースと活動スペースを別部屋にするなどで、はっきり分けられるとよいです。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		有資格者を適切に配置しています。	引き続き適正配置をしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	事業所内は、バリアフリー化されており、視覚支援も行い特性に応じた配慮を行っています。	トイレが狭く、車いす対応にはなっていません。改善したいですが、建物の構造上難しいです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	毎日業務終了後に消毒、清掃を行っています。体を動かす活動や、静かに行う活動の両方に適応できる空間になっています。	学習スペースを別部屋にするなどで、はっきり分けられると、より過ごしやすい環境になると思います。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		体調不良のこどもや、クールダウンが必要なこどもが利用できる別の部屋があります。	必要に応じて利用していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		毎日の職員ミーティングで、振り返りと目標設定、情報共有を行っています。	パートの職員が、ミーティングに参加しにくいので、ミーティングの時間帯に工夫がいきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者向けの評価表を集計し、職員全体で内容を把握し、改善点を話し合い、より良い支援につなげています。	保護者向け評価表だけでなく、保護者の意向を吸い上げる機会を作るようにしていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		毎日の職員ミーティングや、毎月の職員会議で意見を出し合ったり、業務改善につなげています。	引き続き行っています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	現在は、行っていません。	必要な場合は、外部評価を行っていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		外部研修や事業所内研修を行っていません。	引き続き行っています。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		行っています。	引き続き行っています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		初回アセスメントを丁寧に行い、個別支援計画を立案作成しています。	引き続き行っています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		毎日のミーティングや毎月の職員会議で支援にかかわる職員全員が意見を出し合い、それをもとに児童発達支援管理責任者が計画を作成しています。	引き続き行っています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		毎日のミーティングや毎月の職員会議で支援にかかわる職員全員が計画の内容を理解し支援しています。	支援の記録をもとに振り返りをこまめに行い、より良い支援を行っていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		発達検査などのフォーマルアセスメントと日々の観察記録などのインフォーマルアセスメントと両方を使用しこどもの行動の状況を確認しています	行動観察記録を、さらに充実させ支援に生かしています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		こども一人一人に応じた内容を設定しています。	引き続き行っています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		職員全員意見を出し合い、プログラムを作成しています。	引き続き行っています。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		日替わりの講座を実施し、毎日異なるプログラム内容にしています。	こどもの興味のある活動や、発達段階に適した活動を取り入れていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		毎日の日替わり講座で個別活動と集団活動を実施しています。	集団に参加しにくいこどもの対して、適切な支援が行えるように工夫していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎日の職員ミーティングで、役割分担や注意すべき事柄について確認しています。	職員の一部に負担がかかることのないように、またそれぞれの職員の能力が発揮できるような役割分担や協力体制をとっていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		4	勤務時間の関係で支援終了後の打ち合わせは難しいため、翌日のミーティングで支援の振り返りを行っています。	職員間の打ち合わせでは、意見を出しやすい雰囲気を作り、こどもの小さな変化も見のがさず、支援に生かしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1	個別の日々の記録を取り、こどもの様子の振り返りをしたり、変化に気づきやすくするなど、支援の改善につなげています。	さらに充実した記録内容にしていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		適切な見直しを行っています。	引き続き行っていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	2	2	「4つの基本活動」を組み合わせた活動を提供し、支援を行っています。	こどもが楽しんで参加できる活動を提供していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2	2	活動への強制参加は行わず、自発的な参加ができるように支援しています。	自己選択できる機会を増やしていきます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児童発達管理責任者を中心に支援にかかわっている職員が参画しています。	引き続き行っていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		整えています。	引き続き行っていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	1	適切に行っています。	引き続き行っていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		4	開設後間がないため、実際に情報共有の場面はありませんが、必要に応じて行っていきます。	新一年生を迎える際には、特にスムーズな移行ができるように情報共有していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4	開設後間がないため、実際に情報共有の場面はありませんが、必要に応じて行っていきます。	学校を卒業しサービスの移行の場面では、情報提供をしていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4	必要に応じて行っています。	引き続き行っていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		児童館を利用しています。	機会は限定的なので、学校の長期休暇を利用して、機会を増やしていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		開設後間が無いため、まだ機会がありません。	積極的に参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		毎日の連絡帳の記入や写真で活動の様子を伝えたり、困りごとの相談や成長を喜び合えるようにしています。	引き続き行っていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4	開設後間がないため、まだ実施できていません。	家族を対象とした研修や、情報交換できる家族会のような機会を提供していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時や面談、また必要時に行っています。	引き続き行っていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		面談をとおして家族の意向を確認しています。	言葉によるコミュニケーションが難しいこどもに対しても気持ちや意向が確認できるようにしていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		面談を通して説明し同意を得ています。	引き続き行っていきます。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		個々に応じた対応を適切に行っています。	家族から相談しやすい雰囲気を作り、定期的に相談会などを行っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4	開設後間がないため、まだ実施できていません。	保護者会を計画していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情窓口を設け、周知しています。苦情には、迅速かつ適切に対応しています。	引き続き行っています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		4	開設後間がないため、まだ実施できていません。	定期的な通信を発行したり、行事内容や予定のお知らせをしています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		職員には、秘密情報の保持に関する誓約書を取り、個人情報の保管、取り扱いに十分注意しています。	引き続き行っています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		視覚優位の特性があるこどもには、視覚支援を行うなどの配慮を行っています。また外国語を使う保護者には通訳を用意するなどの配慮を行っています。	引き続き行っています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	ボランティアとの交流など地域住民を招待した活動を行っています。	学校の長期休暇などを利用して、引き続き行っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		マニュアルをもとにした研修を行ったり、避難訓練を実施しています。	引き続き行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		業務継続計画（BCP）を策定しています。	さらに必要な訓練を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		初回アセスメントを行い、必要な状況を把握しています。	状況確認に加え、対応の方法、緊急時の連絡先など必要なことの把握や訓練をしています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		保護者にアレルギーに関する質問書の提出を求め、対応を個々に確認しています。	個々に応じた適切な対応をしています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全に配慮し、支援しています。	さらに必要な安全管理、研修、訓練を計画的に行っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2	家族絵の周知が不十分な面があります。	家族への周知を進めています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハット報告書を作成し、毎日のミーティングや毎月の会議で情報共有、検討をしています。	ヒヤリハットを意識することで、より安全な環境づくり、支援をしています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		全職員が虐待に関するセルフチェックを定期的に行い、事業所内研修を行っています。	虐待防止に対する高い意識を持てるように、引き続き行っています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		4	身体拘束の必要なこどもがないため、今のところ行っていません。	必要に応じて、行っています。